

2026年4月13日

日本バスケットボール協会と連携し、若手指導者の育成支援を全国で開始 安藤財団コーチングアカデミー ～未来のブカツを育てる指導者養成プロジェクト～

公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団（理事長：安藤 宏基、以下 安藤財団）は、公益財団法人日本バスケットボール協会（会長：島田 慎二、以下 日本バスケットボール協会）と連携し、同協会が実施・管理する JBA 公認コーチ養成講習会^{*1}の受講支援を通じて、22歳以下の若年層（以下 U22）を対象とした「バスケットボール若手指導者育成支援」を2026年4月より全国で開始します。

部活動改革の課題解決に向け、22歳以下を対象に
JBA 公認 C・D・E 級コーチ養成講習会の受講料を 50% 支援



公立中学校の運動部活動は、スポーツ振興に重要な役割を果たしてきましたが、少子化や社会・経済状況の変化に加え、運動部活動への加入率の減少傾向^{*2}もあり、従来の運営体制では維持が難しくなっています。こうした中、全国で自治体を中心に部活動改革が進められていますが、「指導者の質の保障・量の確保」が大きな課題の一つとなっています。

この状況を受け、安藤財団は、部活動改革における課題解決に貢献するため、2025年4月から地方自治体や競技団体などと連携し、指導者を養成する「安藤財団コーチングアカデミー」を推進してきました。

2026年度は、その支援メニューの一つである「競技指導者資格の取得推進」の取り組みをさらに深め、日本バスケットボール協会と連携し、育成年代の指導に必要なC級、D級、およびその取得の基礎となるE級ライセンスを取得するためのコーチ養成講習会の受講料を、全国のU22を対象に、安藤財団が50%支援します。

若年層が指導者資格を取得しやすい制度を整え、客観性の高いより良質な指導を、長期にわたり青少年に行える環境づくりを目指します。こうした取り組みを通じて、子どもたちを指導する人材の普及・育成を進めるとともに、子どもたちが将来にわたってスポーツ活動に親しむ機会の確保に貢献していきます。

^{*1} 日本バスケットボール協会の指導者養成事業について [URL]<https://www.japanbasketball.jp/coach/>

^{*2} 笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2023

■支援概要

支援内容：競技指導者資格の取得推進

対象受講者：2026年4月1日時点で21歳以下かつ、日本バスケットボール協会が実施・管理するJBA公認コーチ養成講習会を受講する者

対象講習会：JBA公認C・D・E級コーチ養成講習会

実施内容：対象となるライセンス講習会の受講料の50%を安藤財団が支援

実施エリア：全国

実施期間：2026年4月～2027年3月

■安藤財団コーチングアカデミーについて

「安藤財団コーチングアカデミー」は、部活動改革における課題の一つである「指導者の質の向上」に取り組む指導者養成プロジェクトです。将来にわたって子どもたちがスポーツに親しむ機会の確保を目指しています。

2025年度は大阪市・横浜市と連携し、公立中学校の部活動指導員および顧問教員を対象に、公益財団法人日本陸上競技連盟、日本バスケットボール協会とともに、指導者養成のモデルづくりに取り組みました。

支援メニューの一つである「指導者基礎ナレッジ研修」では、近年の中学生を指導するうえで必要な、コミュニケーションや安全管理などを体系的に学べる講習映像を制作しました。現在、地方自治体などを対象にこの教材の無償貸出を進めています。

2026年度は、バスケットボール若手指導者育成に加え、中学生世代の指導に必要な知識を学べる新たな講習映像を制作し、指導者支援のさらなる充実を図ります。

■安藤スポーツ・食文化振興財団について

安藤財団は、創設者・安藤百福（ももふく）の「食とスポーツは健康を支える両輪である」という理念のもと、青少年の健全な心身の育成と社会のウェルビーイング向上に取り組んでいます。スポーツ支援、自然体験活動、食文化振興、発明記念館運営、社会福祉の5つの事業を通じて多様な学びと成長の機会を提供するとともに、新たな社会課題にも対応しています。

《この件に関するお問い合わせ先》

公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団

事務局 橘・金谷

〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2丁目3-4 TEL 045-345-4335

info-foundation@ando-zaidan.jp

(火曜日、年末年始は休業)



公益財団法人

安藤スポーツ・食文化振興財団